

あれから1年

飄

々

広報委員

岸本 千種

去年の2月、マスク不足が始まった。店頭からマスクが消え、ネット通販でも売り切れか普段の数十倍の高値が並んでいた。

「マスク無しでは、ご遠慮ください」の張り紙が、不安と孤立感をかきたてた。マスクを買いたくても、マスクの手持ちゼロでは店に入れない…。

3月も4月も、連日マスク入手困難の話題で持ちきりであった。

ゴールデンウィークを過ぎたころから少しずつ出回り始め、夏以降は苦勞せずに買えるようになった。

マスク不足を追いかけるかのように、去年2月は、トイレットペーパーも店頭から消えた。マスク不足→紙不足→トイレットペーパー不足と、連想してしまうのは了解可能である。温水洗浄便座が普及している令和の日本では、ペーパーレスでもどうにかやっていけそうだが、個室を出るまでに時間がかかる。やはり手の届く所にあってほしい。

常備しているストックで、何とか1か月は、持ちこたえられると考え、動き回らずに待つことにしたが、不安ではあった。

結果として、1か月後には、トイレットペーパー騒動は落ち着いた。店頭に出回ってくるのに先立って、倉庫に天井近くまで積み上げられている映像がテレビ画面に映ってから、落ち着きを取り戻したようだ。

店の棚に残り1袋しかないとすぐ売れてしまう。2袋残っていると、ちょっと安心して「次の時でもいいわ」と立ち去る気になる。

店頭で現物があるのを、視覚的に確認出来るようになったことが一番の解決方法であった。

1973年（昭和48年）の第1次オイルショックに続く、トイレットペーパーの買い占め騒動が記憶にある。水洗トイレは普及していたが、温水洗浄便座は、まだまだの時代であった。トイレが詰まる恐怖は大きかった。

小学生時代に疎開生活を経験した戦中派のわが母は、近所のおばちゃん達と連れ立ってスーパーへ繰り出した。トイレットペーパーの袋を自転車に積んで意気揚々と帰るのを見かけた、別のおばちゃんたちも、猛スピードでスーパーへ向かっていった。井戸端会議や長電話で武勇伝を語る母たちは、限定的な連帯感と達成感と活気にあふれていた。

なぜ石油不足が紙のトイレットペーパー不足を引き起こしたのか。

原油価格が上がるなら、物価上昇が起こり、トイレットペーパーも値上げする、と考えて少し余分に買っておこうとする。数人が多めに買っているのを目撃した人が、我も我もと、買い始めると店頭で品薄になる。それを見聞きした人も急いで買いに行く…と悪循環になっていく。取り残されるかもしれない不安に耐えながら、じっと待つというのは難しい。「皆が急ぐなら私も急がなくては」と探し回り買いに走るほうが、より選びやすい行動かもしれない。

不安な時の群集心理は、30年経っても共通するものがある。1973年も第4次中東戦争の影響で石油が手に入らなくなる強い不安があった。

今は、誰でも簡単に情報をSNSで拡散することができる。速度も範囲も大きいので、影響が大きくなる。ネット通販で夜中でも簡単に買えるだけに、極端な買い集中も起こりやすい。

今年3月は、東日本大震災から10年経ったという話題が連日テレビでも取り上げられていた。

東日本大震災の後も、トイレトーパーやペットボトルの水、乾電池などの不足騒動が起こった。当時、山口県では、特に不足した記憶はないが、東京の時間停電やエスカレーターが止まっていたとか、東日本に住む身内にペットボトルの水を送り届けるという話は聞いた。

今年2月14日、ヨーロッパからのワクチンを載せたジェット機が、成田空港の滑走路に着陸したニュース映像を見た。憧れの海外スターを出迎えた時みたいだった。僅か1年でコロナ対策ワクチンが完成したのは素晴らしい。

2月18日、山口県内では最初に下関医療センターに、先行接種のワクチンが届いたという明るいニュースを見た。当初、医療従事者は3月、高齢者は4月と期待していたが、接種計画は後ろにずれている。

ワクチンが届く予定は、“予定”であり、最大限の努力という言葉は、友好的であるが具体的ではない。国内産ワクチンは、国の安全のためにも重要であるが、まだ完成していない。

3月14日、山口県で桜の開花宣言があった。3月25日、聖火リレーが福島県からスタートした。なでしこジャパンのメンバーが掲げるトーチは桜花のイメージで青空に映えた。残念ながら、多くの人にとって、今年の花見にはワクチンは間に合わなかった。

去年9月号の飄々で紹介した映画「コンテイジョン」を、もう一度見観た。エンディングで、ロックバンドU2の曲「All I want is you」が美しく流れ、待ちに待ったワクチン接種を済ませた若い二人が、見つめあってダンスを楽しんでいた。

映画の中では、ワクチン接種の順番を公開の場で、誕生日（○月△日）で抽選していた。

ワクチンの争奪戦が激化して、接種の順番をめぐる脅し・取引・誘拐まで起こっていた。

幸いなことに、今のところ日本では、皆まだ冷静にワクチン接種の順番を待っている。

表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。

アナログ写真、デジタル写真を問いません。

ぜひ下記までご連絡ください。

ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係
E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp